

平成29年度 町民読書感想文・画コンクール入賞者

町教育委員会社会教育課主催「平成29年度町民読書感想文・感想画コンクール」の入賞者をお知らせします。感想文356点、感想画26点の応募がありました。特選者の表彰は、2月25日（日）に文化会館で開催される「生涯学習のつどい」で行います。感想文特選作品は、文集として川根本町図書室で開架します。また感想画入賞作品は、文化会館および町民ギャラリーにて展示します。

感想文

小学生・低学年の部

特選	澤下 希海	中川根第一小	1年	メガネをかけたら
特選	大井 南	中央小	1年	はじめてのおつかい
入選	川島 好花	本川根小	1年	かみさまからのおくりもの
入選	宮上 叶至	中川根第一小	2年	アランの歯はでっかいぞこわーいぞ
入選	澤口 虎白	中川根南部小	2年	もぐらのたくはいびん

小学生・中学年の部

特選	山本連太郎	本川根小	3年	干したから…
特選	渡邊 麻未	中川根第一小	4年	シートン動物記 ギザ耳小僧
入選	金子 紘夢	中川根第一小	3年	ぼくはうちゅうじん
入選	坂口 月美	中央小	3年	ないたあかおに
入選	村松 明美	本川根小	4年	いのちをつなぐ犬夢之丞物語
入選	上田 倫子	本川根小	4年	捨て犬未来と子犬のマーチ

小学生・高学年の部

特選	板谷 沙輝	中央小	6年	小さないのち
入選	澤本こころ	中央小	5年	走れ、セナ！
入選	和田 歩	中央小	5年	オトタケ先生の3つの授業
入選	澤口 藍璃	中川根南部小	6年	チキン！

中学生の部

特選	原田 瑛司	中川根中	1年	うなぎ 1億年の謎を追う
特選	西村亜由美	本川根中	3年	1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記
入選	湯口 峻祐	中川根中	1年	不思議を売る男
入選	西田 就真	中川根中	2年	ビーバー族のしるし
入選	風間 夏希	本川根中	3年	戦争を取材する 子どもたちは何を体験したのか
入選	渥美 卓弥	中川根中	3年	赤毛のアン
入選	佐藤 光	中川根中	3年	真夜中のディズニーで考えた働く幸せ

高校生・一般の部

特選	澤口 一輝	川根高校	2年	誰も知らないプロ野球「審判」というお仕事
入選	前田 紗良	川根高校	1年	君の隣をたべたい
入選	小林 実奈	川根高校	2年	いじめの構造
入選	長濱寛二郎	一 般		大井川上空における散華 1945.5.29

小学生・低学年の部

特選	椎野 愛華	中川根南部小	2年	おばけのばけひめちゃん
入選	上野真侑華	中川根第一小	1年	三びきのやぎのがらがらどん
入選	澤下 希海	中川根第一小	1年	むしたちのうんどうかい
入選	北村 哲也	中川根第一小	2年	11びきのねこどろんこ
入選	梶原 玲音	中央小	2年	きみはほんとうにステキだね
入選	坂口 快月	中央小	2年	きつねのおきやくさま

小学生・中学年の部

特選	加藤久太郎	中央小	4年	チョコレート戦争
----	-------	-----	----	----------

文化会館 ☎ 3106

「日本で最も美しい村」連合に関する 学習会を開催しました

12月15日・16日の2日間、「日本で最も美しい村」連合に関する学習会を開催しました。

連合資格委員会や加盟自治体から3名の講師を迎え、美しい村づくりに対する理解を深めてもらうこと、今後の美しい村づくりを担う推進チームを形成することを目的として、町内で地域づくり活動に取り組んでいる方をはじめ40名が参加しました。

▼15日：連合の理念や他地域での取り組みに関する講義・グループワーク

はじめに、連合副資格委員長の山田泰司氏は「農山漁村にこそ日本の本当の美しさがあり、辺境の地から日本を変えていくこと」を目的に連合が発足したことを紹介した上で、連合は「自然や風景だけでなく、人の心や食などの美しさ、『真・善・美』を通して、地域の自立を目指す。他の加盟町村や世界の先進事例から学び、自分たちの地域づくりに活かしていく。その主体は住民である」と説明しました。また、加盟審査と5年ごとの再審査では、将来に向かって美しい村づくりを進めるための学習や実践が行われているかを確認していることを紹介しました。

次に、山形県飯豊町総務企画課の高橋弘之氏から、飯豊町の最も美しい村づくりとして各地域で土地利用計画となる農村計画を住民自らが策定し、「田園散居集落景観を重視した『生活の舞台が訪れる人を感動させる』まちづくり」「地域経済を再点検して、地域で消費するものは地域で生産すること」「木材や家畜排せつ物を活用した熱供給や発電など、環境にやさしくエネルギー自給率の高いまちづくりと、新たな産業による雇用創出と農林業の活性化による持続可能な地域社会の実現」を目指していることなどが紹介されました。

講義後には、連合資格委員の藤本穰彦氏がコーディネーターとなり、連合の審査基準と照らし合わせながら、参加者が自らの活動を振り返り、最も美しい村づくりとして捉え直すグループワークを行いました。



▼16日：フィールドワーク（久野脇地区・尾呂久保地区）

久野脇地区では、恋金橋や佐澤薬師堂など恋愛にまつわる地域資源や民話があり、「縁結び」をテーマに地区内を散策するルートを開発し、地区住民がガイドとなって来訪者をもてなす活動をしています。参加者からは「点在する地域資源が上手に結ばれていた」「ガイドをしてもらうことでストーリーを描くことができた」「案内看板や休憩箇所、ビューポイントなどの整備が必要」といった意見や感想がありました。講師からは「地域の歴史や文化とお茶をつなげるストーリーを発信することで、この地域への関心度がより一層高まるはず。屋根や防霜ファンの色など景観阻害要因を改善し、さらに統一感のある景観を形成する。そのためには住民の意識統一を図ることが必要。美しい村づくりは生活や生業の中に魅力があることが重要」と講評がありました。

尾呂久保地区では、つちや農園にて世界農業遺産に認定された「茶草場農法」の実践茶園を見学し、お茶をいただきました。標高600mの地でお茶づくりに励むつちや農園では、茶業界の常識にしばられない独自の付加価値化を実践しており、その全ての根幹は土づくりからと、基本を重んじる園主のお話に、参加者は深く感銘しました。2日間を通して、川根本町の地域資源の素晴らしさを改めて感じる事ができた豊かな学びの時間となりました。

2月10日（土）には、「日本で最も美しい村」連合をテーマにした千年の学校の公開講座を徳山地区にて行う予定です。どなたでも参加できますので、ご応募をお待ちしています。



企画課・まちづくり推進室 ☎ 562221